

学校評価（中間）について

本校では、年2回の自己評価を行っています。1回目は9月（中間評価）、2回目は2月（最終評価）です。評価の資料として、7月と12月にご協力いただく生徒アンケートや保護者アンケートなどを参考にしています。また、この評価は、客観性を高めるために、学校外の関係者評価委員によって評価していただいています。この評価を学校評価と呼んでいます。本日よりでは、今年度の中間評価結果についてご報告いたします。

＜重点目標①（知）＞		確かな学力の育成		
評価の視点	対象	アンケート項目	%	中間評価
自分の考えを分かりやすく伝える・表現する力の育成と学力の向上	生徒	①授業では、集中して先生や友達の話の聞いている。	98	B
		②授業では、話し合い活動に積極的に取り組んでいる。	94	
	保護者	①お子さんは、「授業が分かる」と言っている。	87	
		②お子さんは、学習に対して意欲的であると感ずる。	83	
	教員	①校内研究の研究主題を意識して学習指導に取り組んでいる。	90	
		②ゴールイメージを持ち、それに到達できるような資料の提示をしている。	100	
家庭学習の質的向上と学習習慣の定着	生徒	③家庭でも時間を決めて学習に取り組んでいる。	89	
		④英語検定取得に向けて努力している。	70	
	保護者	③お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。	82	
		④お子さんは、定期テストに向けて計画的に家庭学習に取り組んでいる。	76	
教員	④授業とリンクした予習・復習の課題を出している。	90		
読書活動の充実	生徒	⑤学校や家庭で読書をしている。	82	
	保護者	⑤家庭でも読書の習慣が身に付いている。	35	
	教員	⑤読書指導をしている。	77	

【課題①】 計画的に学習を進めている生徒があまり多くない

- 家庭学習時間の見える化
 - ➡毎日の学習時間を記録し、グラフで提示する。
- 定期テストに向けた取組
 - ➡どれくらいの課題が出ているのか見える化し、計画的に取り組めるようにする。

【課題②】 家庭での読書習慣が身に付いている生徒があまり多くない

- 本に興味・関心を持たせる取組
 - ➡新刊紹介、ビブリオバトルを行い、自分が読んでいる本以外に興味を持たせる。
- 読書量調査
 - ➡読書量の多い生徒を表彰。

＜重点目標②（徳）＞		豊かな心の育成		
評価の視点	対象	アンケート項目	%	中間評価
自己肯定感・自己有用感の涵養	生徒	⑥自分には、よい面がある。	85	A
	保護者	⑥学校は、生徒の良い面を伸ばしてくれている。	96	
	教員	⑥生徒のよい面を積極的にほめている。	100	
いじめ・不登校のない学校づくり	生徒	⑦自分は、友だちを大切にしている。	98	
	保護者	⑦学校は、いじめや不登校のない学校・学級をつくらうとしている。	88	
	教員	⑦積極的・継続的にいじめ、不登校のない学校・学級づくりを心がけている。	100	
基本的な生活習慣の定着	生徒	⑧自分は、挨拶がしっかりできている。	96	
		⑨語先後礼・無言清掃に取り組んでいる。	94	
	保護者	⑧生徒たちは、挨拶がしっかりできている。	93	
	教員	⑧学校でのルールを生徒に守らせるよう指導している。	100	
		⑨語先後礼・無言清掃の指導をしている。	100	
生徒会活動・部活動の活性化	生徒	⑩生徒会活動や部活動に積極的に取り組んでいる。	98	
	保護者	⑨お子さんは、部活動に積極的に取り組んでいる。	100	
	教員	⑩普段の生活にも生かすことのできるような部活動指導を心がけている。	90	

＜学校関係者評価委員会から＞

- 読書について
 - ・家庭での読書量を増やすには、保護者の協力が必要である。
 - ・読みたい本、興味のある本に出会うかがポイントである。
- 地鳴りへの投稿について
 - ・門前中の生徒の投稿が新聞に載るとうれしくなる。子どもたちの自信にもなるし、学校の活動を地域の皆さんに知ってもらうきっかけにもなる。これからも継続してほしい。

＜重点目標③（体）＞ 健やかな体の育成				
評価の視点	対象	アンケート項目	%	中間評価
体育や部活動の充実による体力・運動能力の向上	生徒	⑪体育や部活動を通して、体力の向上を図っている。	96	B
	保護者	⑪学校は、体育・部活動を充実させ、体力の向上・耐える力の向上を図っている。	89	
	教員	⑪体力・運動能力の向上や耐える力の向上を図っている。	70	
安心・安全な学校づくりと防災教育の充実	教員	⑫学校内外の安全指導の徹底を図っている。	100	
学校と家庭の連携による共同体づくり	生徒	⑫11時ごろまでには寝ている。	75	
	保護者	⑬ゲーム、パソコン、スマホ等は家庭の決まりをつかって、それを守っている。	88	
		⑬お子さんは、11時頃までには寝ている。	72	
	教員	⑬望ましい生活習慣を身に付けさせるための取組をしている。	100	

＜重点目標④＞ 信頼される学校づくり				
評価の視点	対象	アンケート項目	%	中間評価
地域に開かれた学校づくり	生徒	⑭学校に行くのは楽しい。	90	B
		⑮信頼できる先生がいる。	92	
		⑯将来の夢や目標を持っている。	82	
		⑰地域の行事に積極的に参加している。	88	
	保護者	⑩学校は、子どもたちが地域で活躍できる機会を充実させている。	94	
		⑭お子さんは、学校へ行くのが楽しそうである。	94	
		⑮信頼できる先生がいる。	96	
		⑯お子さんは、将来の夢や目標を持っている。	71	

＜重点目標⑤＞ 組織的な学校づくり				
評価の視点	対象	アンケート項目	%	中間評価
業務改善の取組	保護者	⑰学校は、多忙化改善に向けた取り組みを積極的に進めている。	96	A
	教員	⑱業務改善に向けた積極的な取組を実践している。	100	
組織的な学校づくり	教員	⑮各種たより等を通じて、情報発信している。	91	
		⑯生徒のことに、保護者との連絡をとっている。	91	
		⑰服務規律を遵守している。	100	
		⑱管理職への報告・連絡・相談を行っている。	100	

【課題③】家庭でのルール（テレビ・ゲーム・パソコンなど）が守れない生徒がいる

- ゲーム・パソコン・スマホ等の使用時間を減らす取組（ゲーム・パソコン・スマホ等の使用時間を短くすることで睡眠時間を確保させる）
 - ➡使用時間のアンケートを取り、自分の生活を振り返らせる。
- 門前地区学校保健委員会の取組
 - ➡使用時間のアンケートを取り、自分の生活を振り返らせる。ノーゲームデーを設定し、使用せず時間を有効に使うよう指導する。
 - 非行被害防止講座の実施
 - ➡睡眠に関する講話（11/4 生徒・保護者対象）

＜学校関係者評価委員会から＞

- 部活動について
 - ・部員の人数が少ないので、先生方が生徒と一緒に部活動をしている姿をよく見ている。先生方の一生懸命さが伝わってくる。
- 体育祭について
 - ・子どもたちの表情が生き生きとしていて、素晴らしい体育祭だった。



【課題④】将来の夢や目標を持つことができない生徒がいる

- 総合的な学習の時間の取組
 - ➡1年生：地域の商店街との連携
 - 2年生：輪島市のCMづくり
 - 3年生：奥能登での修学旅行
- 各学年がテーマを設定し、たくさんの人たちと触れ合う活動を行う。その中で、それぞれの人たちの生き方を学ぶ。

＜学校関係者評価委員会から＞

- 「夢・目標」を持つことについて
 - ・中学生の段階で、まだ夢や目標がなくてもいいのではないか。高校、大学で進みたい方向性が見つかる人もたくさんいる。それでも遅くない。
 - ・アンケート項目で、「お子さんは将来の夢や目標を持っている」ではなく、「将来について話し合う機会を持っている」と変えてはどうか。